

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 23 週（6 月 5 日～6 月 11 日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 3 人 血清型 O157 3 人
四類感染症 E 型肝炎	2 人 推定感染地域 国内 2 人
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
侵襲性髄膜炎菌感染症	1 人 推定感染地域 国内
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 1 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 4 人
百日咳	3 人 年齢階級 5 歳 2 人、4 歳 1 人

<新型コロナウイルス感染症発生状況>

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(5.77→6.51:図 1, 2)は前週と比較して、やや増加した。保健所別では、幸手(13.00)、越谷市(10.08)、南部(9.75)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、15～19 歳の割合が増加した。

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点把握対象疾患では、RS ウイルス感染症(1.96→2.53:図 3)の定点当たり報告数は、第 19 週以降、増加傾向にあり、多い状況である。保健所別では、幸手(6.11)、南部(5.40)、川口市(5.08)保健所管内からの報告が多い。ヘルパンギーナ(1.12→2.09:図 4)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、南部(3.80→5.80)、越谷市(2.38→4.50)保健所管内で大きく増加した。手足口病(0.82→1.43:図 5)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、加須(1.00→3.83)保健所管内で大きく増加し、幸手(3.44)、草加(2.42)保健所管内で多い。インフルエンザ(1.69→1.51:図 6)の定点当たり報告数は、前週と比較してやや減少した。保健所別では、狭山(5.00)、春日部(3.80)保健所管内からの報告が多い。咽頭結膜熱(0.82→0.73:図 7)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、2019 年の同時期と同水準である。

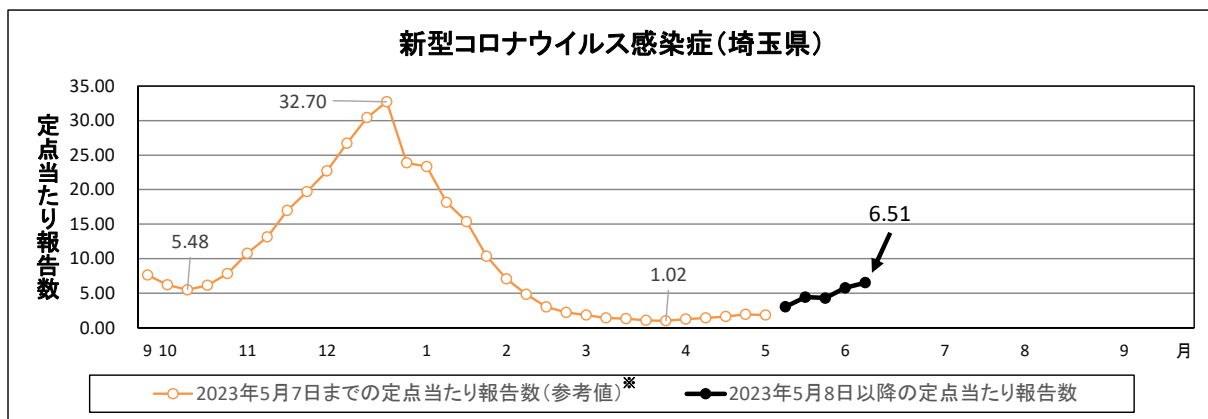
眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 9 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、インフルエンザ（入院）1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

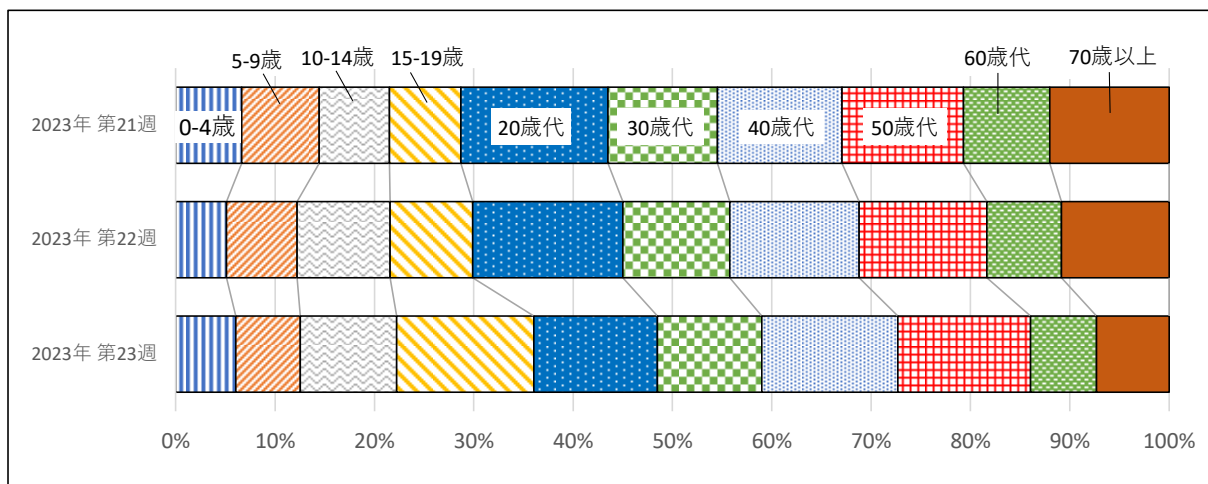
<新型コロナウイルス感染症発生状況（第23週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症



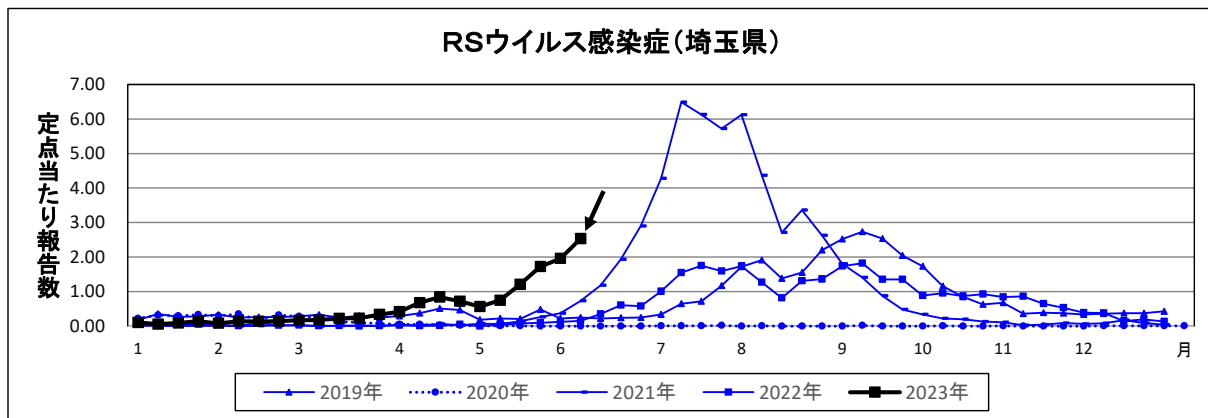
※2022年9月26日から2023年5月7日までの全数報告のデータを元に定点当たり報告数を推計し算出しました。

図2 年齢階級別報告割合の推移（2023年第21週～第23週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図3 RSウイルス感染症



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第23週)

(2023年6月13日 16:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	3	33			
四類感染症					
E型肝炎	2	24	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		4	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	29
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		14	侵襲性肺炎球菌感染症	3	34
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)	1	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	29	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	8	205
急性脳炎		15	播種性クリプトкокクス症		3
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		16	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	16	百日咳	3	18
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2023年5月分)

2023年5月の届出総数は、患者45人、無症状病原体保有者15人の計60人であった。前月と比べると患者数は同水準で、無症状病原体保有者は減少した。過去1年と比較して、患者数は同水準で、無症状病原体保有者数は少なかった。推定感染地域は国内37人、国外3人、不明20人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2022年5月～2023年5月)

	2022年*								2023年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計**
総計	72	65	68	62	60	64	59	47	73	61	72	63	60	329
年齢階級														
10歳未満	3	2	1	2	2	2	0	1	1	1	1	4	2	9
10歳代	3	1	1	1	2	2	0	1	2	0	1	1	0	4
20歳代	3	7	3	4	0	7	3	3	9	4	6	7	3	29
30歳代	5	8	4	3	4	4	5	3	5	6	7	10	5	33
40歳代	8	8	4	5	4	4	3	1	5	3	10	3	2	23
50歳代	11	5	5	4	6	8	9	9	8	5	7	4	7	31
60歳代	1	8	9	10	6	6	6	3	8	11	6	9	8	42
70歳代	17	9	15	16	12	14	14	12	17	13	14	10	10	64
80歳代	15	15	21	11	18	12	13	12	16	16	14	11	17	74
90歳以上	6	2	5	6	6	5	6	2	2	2	6	4	6	20
性														
男	40	42	37	37	28	41	39	34	46	32	40	45	34	197
女	32	23	31	25	32	23	20	13	27	29	32	18	26	132
類型														
患者	42	46	44	46	45	41	40	34	51	44	47	35	45	222
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	30	19	24	16	15	23	19	13	21	16	25	28	15	105
病型														
肺結核	30	31	26	30	31	28	28	29	34	30	31	24	30	149
肺結核及びその他の結核	5	3	3	6	6	6	3	0	7	6	3	3	3	22
その他の結核	7	12	15	10	8	7	9	5	10	9	13	8	12	52
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	30	19	24	16	15	23	19	13	21	16	25	28	15	105
推定感染地域														
国内	46	27	37	36	40	35	39	22	42	43	46	44	37	212
国外	1	8	3	2	2	2	2	5	8	4	3	3	3	21
不明	25	30	28	24	18	27	18	20	23	14	23	16	20	96

*:2022年の届出数は暫定値

**:2023年1月からの累積届出数

5月に診断された60人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計30人の報告があり、60歳代以上が21人で70%を占めた。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2023年5月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	30	3	12	0	15	60
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	1	0	2	0	0	3
30歳代	4	0	1	0	0	5
40歳代	2	0	0	0	0	2
50歳代	2	0	1	0	4	7
60歳代	4	0	2	0	2	8
70歳代	5	0	3	0	2	10
80歳代	7	2	3	0	5	17
90歳以上	5	1	0	0	0	6

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第23週

6月5日～6月11日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1	感染症	感染症																	
全 県	報告数 393	1,700	415	119	347	1,509	47	235	3	57	342	22	2	9	-	1	-	-	-	-	1
	1.51	6.51	2.53	0.73	2.12	9.20	0.29	1.43	0.02	0.35	2.09	0.13	0.05	0.21	-	0.09	-	-	-	-	0.09
朝 霞	報告数 26	139	33	8	23	201	5	13	-	3	40	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.13	6.04	2.20	0.53	1.53	13.40	0.33	0.87	-	0.20	2.67	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 6	155	33	16	24	118	2	19	-	2	10	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.32	8.16	2.75	1.33	2.00	9.83	0.17	1.58	-	0.17	0.83	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 7	25	1	-	1	25	-	3	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.88	3.13	0.20	-	0.20	5.00	-	0.60	-	0.60	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 -	10	-	2	5	-	-	-	-	1	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	-	2.00	-	0.67	1.67	-	-	-	-	0.33	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	報告数 15	32	2	2	-	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2.14	4.57	0.50	0.50	-	0.50	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 25	81	4	1	9	79	1	11	-	4	21	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	1.92	6.23	0.50	0.13	1.13	9.88	0.13	1.38	-	0.50	2.63	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 8	40	13	2	3	-	1	23	1	1	11	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	0.80	4.00	2.17	0.33	0.50	-	0.17	3.83	0.17	0.17	1.83	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 38	80	22	14	55	173	-	7	-	4	19	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	3.80	8.00	3.67	2.33	9.17	28.83	-	1.17	-	0.67	3.17	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 15	182	55	12	17	30	2	31	-	2	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	1.07	13.00	6.11	1.33	1.89	3.33	0.22	3.44	-	0.22	0.33	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 6	67	6	-	5	44	1	2	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.60	6.70	1.00	-	0.83	7.33	0.17	0.33	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数 17	156	20	16	8	109	7	29	1	1	17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.89	8.21	1.67	1.33	0.67	9.08	0.58	2.42	0.08	0.08	1.42	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 125	198	42	23	53	93	5	31	-	8	46	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-
	5.00	7.92	2.63	1.44	3.31	5.81	0.31	1.94	-	0.50	2.88	0.25	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-
南 部	報告数 7	78	27	4	19	80	12	6	-	3	29	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.88	9.75	5.40	0.80	3.80	16.00	2.40	1.20	-	0.60	5.80	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数 12	49	6	1	12	43	-	10	-	4	13	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	0.86	3.50	0.75	0.13	1.50	5.38	-	1.25	-	0.50	1.63	0.13	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 9	131	14	6	7	92	1	2	-	4	36	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.69	10.08	1.75	0.75	0.88	11.50	0.13	0.25	-	0.50	4.50	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数 32	137	66	8	77	167	2	21	1	6	28	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	1.60	6.85	5.08	0.62	5.92	12.85	0.15	1.62	0.08	0.46	2.15	0.23	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数 45	140	71	4	29	253	8	27	-	9	60	5	-	2	-	1	-	-	-	-	-
	1.05	3.26	2.54	0.14	1.04	9.04	0.29	0.96	-	0.32	2.14	0.18	-	0.22	-	1.00	-	-	-	-	-

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

6月 13日

16:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第23週

6月5日~6月11日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	393	-	3	7	10	13	22	23	39	37	45	39	75	38	9	11	18	4	-	-	-
新型コロナウイルス感染症	1,700	6	21	26	18	19	13	15	13	26	28	28	165	235	211	179	233	227	113	84	40
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	415	33	82	122	69	69	28	5	4	2	-	1	-	-	-						
咽頭結膜熱	119	2	13	38	16	19	14	7	6	-	1	-	2	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	347	-	1	12	25	39	29	56	62	36	25	22	30	2	8						
感染性胃腸炎	1,509	10	72	182	162	193	206	168	135	122	62	41	86	15	55						
水痘	47	1	1	2	2	1	2	3	3	11	10	3	7	1	-						
手足口病	235	1	11	54	53	46	33	22	7	1	2	4	1	-	-						
伝染性紅斑	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	57	-	11	34	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	342	2	8	56	65	63	68	40	14	7	5	2	9	1	2						
流行性耳下腺炎	22	-	-	1	1	1	5	7	3	1	1	1	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	-	2	-	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-				

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第21週 (5月22日～5月28日)

令和5年6月14日

<全国情報>

インフルエンザ: インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(7.07)、長崎県(4.14)、愛媛県(3.67)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は67例と前週と比較して減少した。都道府県別では33都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(20例)、10代(6例)、20代(1例)、30代(4例)、40代(2例)、50代(4例)、60代(5例)、70代(4例)、80歳以上(19例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(10.35)、岩手県(5.97)、山梨県(5.78)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は和歌山県(5.90)、山口県(5.51)、奈良県(4.00)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.09)、鹿児島県(1.08)、山形県(1.07)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.41)、鳥取県(3.26)、富山県(2.55)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(13.00)、埼玉県(9.98)、三重県(9.64)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.48)、宮崎県(1.42)、茨城県(1.03)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は埼玉県(0.04)、福井県(0.04)、北海道(0.03)、東京都(0.03)、神奈川県(0.03)、滋賀県(0.03)、奈良県(0.03)、宮崎県(0.03)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.92)、長崎県(4.64)、佐賀県(4.48)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.25)、熊本県(0.24)、長崎県(0.18)である。

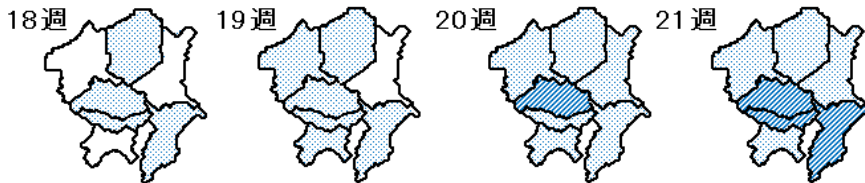
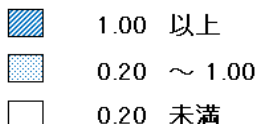
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(3.33)、大分県(0.45)、富山県(0.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。5都道府県から5例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(1例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第21週(5月22日～5月28日): 通巻第25巻 第21号 より

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、埼玉県(1.72)、千葉県(1.16)、東京都(1.12)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2023年 21週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	7,975	2,506	134	34	250	519	382	785	402
	定点当たり	1.62	1.65	1.12	0.45	2.87	2.00	1.85	1.89	1.12
新型コロナウイルス感染症	報告数	17,864	5,964	460	248	194	1,115	1,073	1,647	1,227
	定点当たり	3.63	3.92	3.83	3.26	2.23	4.29	5.21	3.96	3.43
RSウイルス感染症	報告数	6,101	990	48	39	21	281	148	293	160
	定点当たり	1.95	1.03	0.64	0.81	0.39	1.72	1.16	1.12	0.70
咽頭結膜熱	報告数	2,014	581	40	5	35	147	98	147	109
	定点当たり	0.64	0.61	0.53	0.10	0.65	0.90	0.77	0.56	0.48
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,665	1,379	122	47	41	273	191	441	264
	定点当たり	1.49	1.44	1.63	0.98	0.76	1.67	1.49	1.68	1.16
感染性胃腸炎	報告数	20,306	6,821	402	122	260	1,626	1,009	1,955	1,447
	定点当たり	6.48	7.13	5.36	2.54	4.81	9.98	7.88	7.46	6.37
水痘	報告数	405	155	13	3	3	41	11	46	38
	定点当たり	0.13	0.16	0.17	0.06	0.06	0.25	0.09	0.18	0.17
手足口病	報告数	1,133	364	77	3	8	76	41	95	64
	定点当たり	0.36	0.38	1.03	0.06	0.15	0.47	0.32	0.36	0.28
伝染性紅斑	報告数	41	21	-	-	-	6	2	7	6
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.04	0.02	0.03	0.03
突発性発しん	報告数	1,094	344	18	15	18	66	38	97	92
	定点当たり	0.35	0.36	0.24	0.31	0.33	0.40	0.30	0.37	0.41
ヘルパンギーナ	報告数	4,154	921	31	28	30	108	157	336	231
	定点当たり	1.33	0.96	0.41	0.58	0.56	0.66	1.23	1.28	1.02
流行性耳下腺炎	報告数	215	90	6	-	2	17	13	24	28
	定点当たり	0.07	0.09	0.08	-	0.04	0.10	0.10	0.09	0.12
急性出血性結膜炎	報告数	12	5	-	-	-	1	-	4	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	0.11	-
流行性角結膜炎	報告数	217	94	16	3	5	10	13	11	36
	定点当たり	0.31	0.45	0.94	0.25	0.36	0.24	0.37	0.29	0.72
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	3	-	-	-	2	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.18	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	4	-	-	-	1	1	1	1
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	0.09	0.11	0.04	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	33	3	-	-	1	-	-	1	1
	定点当たり	0.07	0.03	-	-	0.11	-	-	0.04	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

RS ウイルス感染症

RS ウイルスは乳幼児を中心に下気道感染により肺炎や細気管支炎などの重症な症状を引き起こすことから、乳幼児において重要な病原体と考えられます。RS ウイルス感染症は感染症法で 5 類感染症（定点報告対象疾患）に位置付けられており、また、埼玉県病原体サーベイランス実施要領(https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/180394/4byougentai_1.pdf)では小児科病原体定点の医療機関に対して検体採取を依頼している感染症のひとつです。

2020 年以降の埼玉県の RS ウイルス感染症の定点当たり報告数を図に示すと、2021 年に大きな流行があったことが確認でき、今年も第 20 週から定点当たり報告数が急増しています。

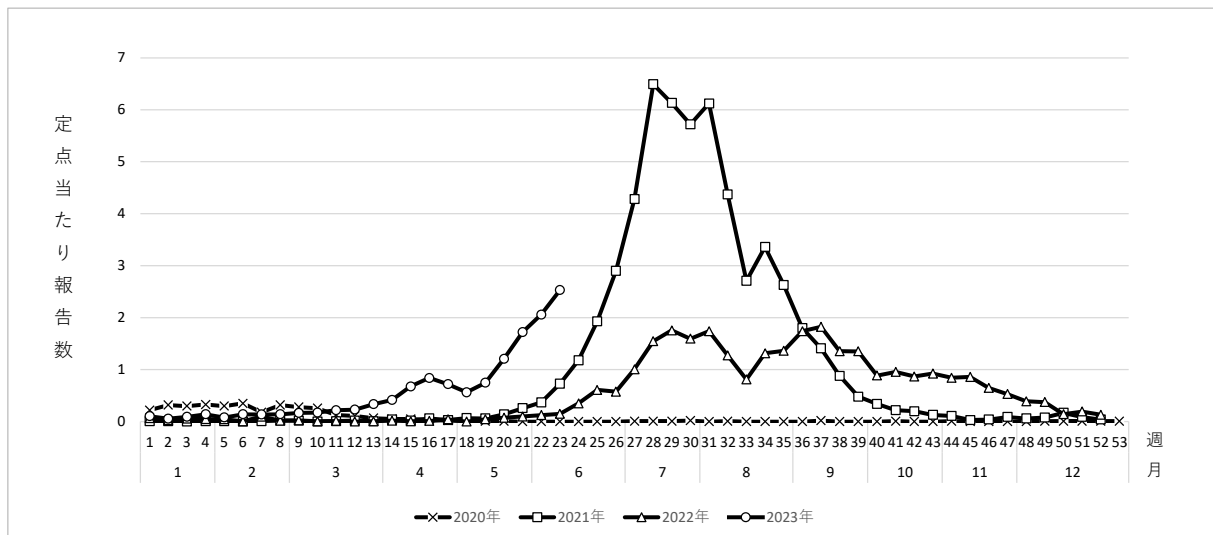


図 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数

RS ウイルスは A と B のふたつのサブグループに分けられます。2020 年以降に埼玉県衛生研究所に搬入された検体からのサブグループ別 RS ウイルス検出状況は表のとおりです。2021 年の流行時はサブグループ A が多く検出されていましたが、2023 年はサブグループ B が多く検出されている状況です。

表 サブグループ別 RS ウイルス検出状況

	2020年	2021年	2022年	2023年
サブグループA	11	17	5	1
サブグループB	2	4	0	12
合計	13	21	5	13

病原体の検出状況が過去 3 年と異なる傾向であることから、発生動向については注意が必要と考えられます。

感染症発生動向調査
2023年

- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第21週](#)

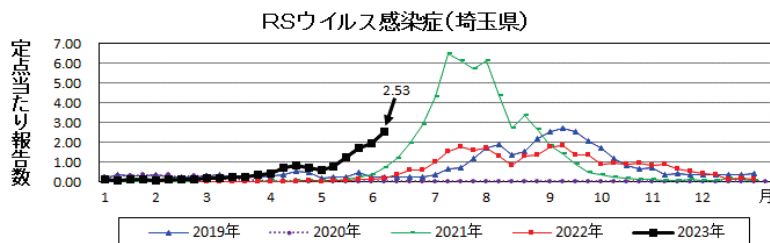
感染症の流行状況 2023年 第23週

2023年第23週（6月5日～6月11日）の要点 令和5年6月14日

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週より増加し、多い状況が続いています。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	↑	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン